

2019年10月1日

第70回日本商業学会全国研究大会運営方針

第70回全国研究大会プログラム委員会

第70回全国研究大会準備委員会

全国研究大会の報告会を活力に富んだ魅力あるものとするために、第70回大会では、以下の要領で運営することにいたしたいと存じます。全国研究大会を成功裡に運び、充実した発表・討論の成果を上げることができますよう、その趣旨をご理解の上、会員の皆様には宜しくご協力賜りますようお願い申し上げます。

- (1) 第70回大会では、統一論題、自由論題、ドクトラル・セッションの3種類の報告希望を会員の皆様から募集します。統一論題の分科会、自由論題、ドクトラル・セッションは5月31日（日）に予定されています。なお、従来のドクトラル・コロキアムは、ドクトラル・セッションとして全国研究大会の正規プログラムの1つとして位置付けることとします。
- (2) 統一論題、自由論題、ドクトラル・セッションの研究報告を希望される方は、別添の「2020年度日本商業学会全国研究大会報告申込書」（学会ホームページよりダウンロードできます）に必要事項をご記入のうえ、2019年~~11月25日（月（必着））~~**12月16日（月（必着））**までに、全国研究大会準備委員会宛にメール添付でお送りください（※申し込み締め切りを延長しました）。なお、メール添付以外の方法での申し込みをご希望の方は、全国研究大会準備委員会までご連絡ください。
- (3) 統一論題、自由論題の報告申し込みは、会員のみとしますが、非会員との共同研究報告は可能です。
- (4) ドクトラル・セッションは、大学院生が研究報告を行うセッションです。大学院生であれば非会員でも報告申し込みができます。
- (5) 会員の皆様からの積極的な研究報告希望を期待しておりますが、会場の制約もございますので、報告希望が過多の場合には、報告論集における報告要旨（3000字前後）よりもフルペーパー（1万字前後）の提出予定者（提出期限：2020年3月末）を優先することを基本として、報告内容に基づいてプログラム委員会および常任理事会において審査を行い、最終的に報告者を確定させていただきます。なお、フルペーパー提出の報告者として確定された方が、提出期限までにフルペーパーを提出

されない場合には、報告辞退とみなされることもありますので、ご注意ください。また、フルペーパーを提出される場合、他の学術誌との二重投稿は避けて下さい。

- (6) 同じ会員が複数の報告申し込みを提出しても構いませんが、今大会における1人の会員の報告機会（登壇機会）は1回とします。複数の報告希望があった場合に、そのいずれを採択するかは、プログラム委員会で決めさせていただきます。また、統一論題、自由論題、ドクトラル・セッションの選択について、プログラム委員会で審査の結果、申込者の希望とは異なる種別に変更していただく場合があります。あらかじめご了解下さい。

なお、第70回全国研究大会のための準備作業スケジュールは、概ね以下の通りです。

2019年 ~~11月25日~~ : 報告申し込み期限（必着）

※12月16日（月）必着に延長いたしました。

2020年 1月中旬 : 報告者決定通知

2020年 3月31日 : フルペーパーまたは報告要旨の原稿提出期限

3月末頃 : プログラム発送（予定）

4月下旬 : 全国研究大会参加申し込み期限（予定）

*申し込みから1週間が経過しても報告申し込み受理の連絡が届かない場合や、採否の決定通知が1月20日までに届かない場合には、全国研究大会準備委員会までお問い合わせ下さい。

よろしくご協力下さいますようお願い申し上げます。